

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	地域組織活動育成事業	会計名称	一般会計		担当課	子育て支援課	
		予算科目	3 款 2 項 1 目	事業番号	1540	所属長名	下岡 裕基
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	太森 真喜恵	
法令根拠等	次世代育成支援対策法・伊予市地域組織活動育成事業費補助金交付要綱				実施期間	【開始】	平成 17 年度
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 次代を担う子供たちの育成支援					【終了】	平成 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	総合計画の政策を達成するために、次代を担う子供たちの育成支援を推進した。						
事業の対象	各保育所の保護者会 (クラブ)			事業の目的	次世代育成支援対策事業の取組として、老若男女の地域住民に主体的な子育て支援活動や交流の促進を図る。具体的には保育所の保護者会 (地域組織) が保育所及び地域住民と連携し実施しているお楽しみ会・夕涼み会・高齢者との交流等地域交流活動に対し補助を実施している。		
事業の内容 (整備内容)	園児と保護者が地域住民の方々とイベントを通じて交流を図り、地域住民の子育て支援を推進する。【補助金】1保育所×50,000円+児童数×500円			昨年度の課題に対する具体的な改善策	地域との交流に重点を置き補助金の適正な執行に努めていく。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	27 年度実績	28 年度予定	9月末の実績	28 年度実績
直接事業費	793	1,019	0	0	0	812	事業参加者数	人	13950	13000	6000	13040
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0						
一般財源	793	1,019	0	0	0	812						
職員の人工 (にんく) 数	0.05	0.05				0.05						
1人工当たりの人件費単価	8,042	8,086				8,086						
※ 直接事業費+人件費	1,195	1,423				1,216						
主な実施主体	直接実施		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)									
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	5年間の合計		
					1,019	1,054	1,060	1,060	1,060	5,253		
成果指標	指標	事業参加者数	単位	⇒	区分年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標 毎 年度			
			人		目標	13000	13000	13000	13000			
	指標設定の考え方	地域住民の子育て支援を目的とするため、事業参加者数を指標とする。			実績	13950	13040					
	指標で表せない効果											

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		各保育所へ助成金を交付することで、地域組織活動を活発に行うことができ、助成の目的が達成されていると考える。しかしながら、財政状況の厳しい昨今、団体への助成金は、過去10年以上継続しており、見直しが必要である。										
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	C	事業成果・工夫した点 事業の苦労した点・課題	助成の目的は達成されており、各保育所での成果が上 がっていると思われる。			
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	2							
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	2							
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3							
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	2							
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	2							
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	2								
		コスト効率	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	2								
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	2								
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	C		事業の方向性	<input type="checkbox"/> 事業継続と判断する。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 補助金を活用して、園児と保護者が地域住民とイベントを通して交流を図ることで、保育所と地域の連携につながっており、事業は縮小しても事業の継続は必要であると考えている。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	2							
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	2							
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3								
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	2								
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	2								
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3									
	コスト効率	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	2									
	市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	2									
所属長の課題認識			事業の必要性は認識しているが、厳しい市の財政状況のため、平成29年度から若干の減額を予定している。今後も段階的な減額を検討していく。									

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子どもたちを育てていくという意味ではとても良いことであり、続けていただきたいと思う。 ・事業は縮小かもしれないが、地域コミュニティの活性化、地盤を整備する上では必要な事業であると思う。広報区長会の場合でも、地域で考えてみてもらえないだろうかという、問題を投げかけるのも一つの手ではないかと思う。 ・財政が厳しく減額しないと実施できないという部分もあるだろうが、この事業は継続してほしい。 ・1保育所に5万円を無条件に出して、後は園児1人につき500円である。定額部分は止めてもいいのではないか。 ・補助金の交付対象となる事業がクラブ運営にかかる経費、事業が経費となっている。事業は事業であり、補助金は団体補助金と化している。いらないのではないか。園児1人当たりの単価を上げる方が合理的だろうと思う。
------------	------	--

今後の方向性 (ACTION)

の 最 終 者 判 断 議	事業の方向性		コメント欄 外部評価で補助対象経費があいまいな部分があり、事業の目的に即した制度となるよう要綱の見直しが必要という意見がある。対象を明確にした要綱を見直しの上、継続する必要があると判断する。
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。	